



エレベーターご利用のごあんない

1F から 2F まで、従業員用のエレベーターをご利用いただけます。
ご希望の方はスタッフにお声がけください。



館内での写真撮影についておねがい

1. 館内での写真撮影は、営利目的ではない私的利用の場合に限り可能です。
 2. NG マーク以外の作品写真の SNS へのアップロードが可能です。
 3. カメラのフラッシュ、三脚、自撮り棒の使用はご遠慮ください。
 4. イベントの開催時や作品ごとに、
撮影をお断りしている場合がありますのでご注意ください。
 5. 写り込みや観賞の妨げになることを防ぐため、
他の来館者の方がいる場合は撮影をご遠慮ください。
 6. 動画の撮影は原則として禁止です。ご希望の場合は必ず事前にご相談ください。
 7. 不明な点など、お気軽にスタッフにおたずねください
-

Painters + Collection 2021

ペインターズ+コレクション 2021

- | | | | | | |
|----------------------------|--------------|-----------|--------------|----------------|--|
| 1. Head with Pillow | 2019年 | 油彩 | キャンバス | 50×40cm | |
| 2. Snow | 2019年 | 油彩 | キャンバス | 50×40cm | |

Phoebe Unwin フィービー アンウィン (1979-)

イギリス、ロンドン在住。2002年ニューカッスル大学美術学部卒業。 2005年ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、スレード・スクール・オブ・ファイン・アートで修士号取得。テートギャラリー、ボイマンス・ファン・ペーニンゲン美術館などに作品が収蔵される。近年の主な展覧会に 2020年「Osmosis」Amanda Wilkinson Gallery (ロンドン、イギリス)、 2020年「Home and Unhome」四川美術学院現代美術センター (重慶、中国) など

- | | | | | | |
|---|--------------|-----------|-----------|------------------|--|
| 3. Pink Moon Beams and The Sound of Polka Dots | 2021年 | 油彩 | 麻布 | 117×237cm | |
| 4. Untitled | 2021年 | 油彩 | 麻布 | 30×30cm | |

浦郷 仁子 Hitoko Urago

大阪生まれ、在住。2001年にチェルシー芸術大学絵画科学士、2003年にロンドン大学スレード芸術大学大学院芸術学部絵画科修士取得。イギリス、ロンドンでの活動を経て、2009年7月に南アフリカのケープタウンなどで滞在制作を行う。主な展覧会に 2019年「ONLY CONNECT OSAKA」CCO クリエイティブセンター大阪 (大阪)、2015年「Harmony」maison TOMORROWLAND ART FRAME (東京)、2013年「CONNECTED」MORI YU GALLERY (京都) など

- | | | | | | |
|--|--------------|----------------|------------|--------------------|--|
| 5. Save Our Trees (Lea Bridge Road) | 2020年 | アクリル絵の具 | ボード | 50.5×40.5cm | |
| 6. Thicket of Brambles | 2020年 | アクリル絵の具 | ボード | 35.5×45.5cm | |

Nicola Morrison ニコラ モリソン

イギリス、ロンドン在住。2004年ユニバーシティ・オブ・ジ・アーツ・ロンドン、セントラル・セント・マーチンズ卒業。おもに植物をモチーフに、ドローイングや絵画を制作する。スウェーデン、アメリカ、日本でも作品を発表している。近年の主な個展に 2018年「Marsh Lands」Bloomsbury Design、SIT Collective「Paper Trails」(いずれもロンドン、イギリス) など。

- | | | | | | |
|----------------------------|------------------|--------------|-----------|--------------|------------------|
| 7. Sobrepienso (I) | 考えすぎ (I) | 2021年 | 油彩 | キャンバス | 120×100cm |
| 8. Sobrepienso (II) | 考えすぎ (II) | 2021年 | 油彩 | キャンバス | 120×100cm |

Hilda Palafox ヒルダ パラフォックス

メキシコシティの国立芸術アカデミーのデザイン学部卒業活動。メキシコで最も重要な女性アーティストの一人として、数々の展覧会やブランドとのコラボレーション、壁画の制作などで活動する。年の主な展覧会に、2020年「Espacio Habitable」Maia Contemporary (メキシコシティ、メキシコ)、2019年「Urvanity Art Fair」壁画制作 (スペイン、マドリード) など。

- | | | | | | | | |
|---------------------|--------------|----------------|-------------|------------|--------------------|----------------|------------|
| 9. mark | 2014年 | アクリル絵の具 | コットン | パネル | 95×95cm | | |
| 10. Veil #3 | 2020年 | アクリル絵の具 | 接着芯 | 綿布 | パネル | 53×83cm | 個人蔵 |
| 11. Veil #10 | 2021年 | アクリル絵の具 | コットン | パネル | 162×130.3cm | | |

木下 令子 Reiko Kinoshita

熊本県生まれ。2009年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。2012年第27回ホルベインスカラシップ奨学生に選出。近年の主な個展に 2019年「憬」crossing (岐阜)、2018年「夕べがあり、朝がある」LOOP HOLE (東京)、2017年「日のふるまい」HAGISO (東京) など。清須市はるひ美術館に作品が収蔵されている。

- | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|-----------|--------------|------------------|--|
| 12. Mask and Fountain | 2021年 | 油彩 | キャンバス | 210×240cm | |
| 13. Waterfall and Blackhole | 2020年 | 油彩 | キャンバス | 210×180cm | |

Andrew Stahl アンドリュー シュタール (1954-)

イギリス、ロンドン在住。ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンのスレード・スクール・オブ・ファイン・アート絵画コースの学部長を務め、国際的に作品を発表し続けている。1979-1981年ブリティッシュ・スクール・オブ・ローマの奨学生に選出、以後各国で滞在制作を行う。近年の主な展覧会に 2020年「Andrew Stahl: Through the City」Tibaldi Arte Contemporanea (ローマ、イタリア) 2020年「Moving」Hanart TZ (香港)、2019年「Andrew Stahl 1976 – today」Sharjah Art Foundation (シャルージャ、アラブ首長国連邦) など

なかた美術館 コレクション

- | | | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------|-------------|--------------|-------------------------------------|
| 100. ポール アイズペリ
(1919-2016) | テーブルの上の花 | 1954年 | 油彩 | キャンバス | 73×61cm |
| 101. モーリス ド ヴラマンク
(1876-1958) | チーズとハム | 1927年 | 油彩 | キャンバス | 80.3×116.7cm |
| 102. ジョルジュ ルオー
(1871-1959) | ソランジュ | 1949～1958年 | 油彩 | キャンバス | 45.5×37.9cm |
| 103. ベルナール ピュフェ
(1928-1995) | 花咲く農家 | 1973年 | 油彩 | キャンバス | 89.4×130.3cm |
| 104. 北川民次
(1894-1989) | 薔薇 | 1972年 | 油彩 | キャンバス | 75.5×68cm |
| 105. マリー ローランサン
(1883-1956) | 信仰 | 1936年 | 油彩 | キャンバス | 47×39cm |
| 106. パブロ ピカソ
(1881-1973) | 三人の裸婦 | 1920年 | パステル | 紙 | 57.5×72cm |
| 107. ピエール=オーギュスト ルノワール
(1841-1919) | バラの花瓶 | 1919年 | 油彩 | キャンバス | 35×27.3cm |
| 108. ポール セザンヌ
(1839-1906) | かくれんぼ遊び
(ニコラ・ランクレによる) | 1860～1862年 | 油彩 | キャンバス | 167.5×221.5cm
(壁画からの移し替え) |
| 109. カミーユ コロー
(1796-1875) | 雌牛のいる風景 | 1860～1870年 | 油彩 | キャンバス | 48×62cm |
| 110. モーリス ユトリロ
(1883-1955) | パリのマラケー河岸 | 1906年 | 油彩 | キャンバス | 44×57cm |



ご来館ありがとうございました
アンケートにご協力をお願い
いたします



Please give us your feedback. English ver.

39. on the table	2021年	油彩	パネル	45.5×65cm	
40. on the table	2021年	油彩	パネル	53×45.5cm	
41. floral pattern fabric	2021年	油彩	パネル	51.7×73cm	
42. basket	2021年	油彩	パネル	31.5×412.cm	

岡嶋 晶子 Akiko Okajima
 山口県出身。尾道市立大学大学院にて修士号取得。広島県尾道市を拠点に絵画を制作、フライヤーやパッケージなどのイラストレーションを手掛ける。主な仕事に手作りジャムとおやつのお店「cosaku ū コサクウ」、「USHIO CHOCOLATL」のパッケージイラストなど。美術館のエデュケーターとして絵画教室やワークショップの企画も行っている。主な展覧会に 2021年「Diary ダイアリー」KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS（広島）、2016年「AIR DIVE in 五島」光明寺會館（広島）など

--	--	--	--	--	--

43. Postcard Typologies: walled towns & cities Tangier	2021年	グワッシュ	メス	タイプ	鉛筆	水彩紙	14.8×10.5cm	
44. 樽松正利 「タンジール」	油彩	キャンパス	60.6×72.7cm	なかた美術館蔵				
45. Postcard Typologies: walled towns & cities Paris	2021年	グワッシュ	メス	タイプ	鉛筆	水彩紙	14.8×10.5cm	
46. アルペール マルケ								
「サン・ミッシェル河岸からノートルダムを望む」	1900年代初頭	油彩	キャンパス	55×46cm	なかた美術館蔵			

47-54. Postcard Typologies: Jōkamachi	2021年	グワッシュ	メス	タイプ	鉛筆	水彩紙	各 14.8×10.5cm	
--	--------------	--------------	-----------	------------	-----------	------------	----------------------	--

James Scott Brooks ジェームズ スコット ブリックス（1974-）
 ロンドン在住。エクセター・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインで学士号、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインで修士号を取得。紙媒体のドローイングや音楽による作品を制作している。近年の主な展覧会に、2020年「Before The Dust Settles」Galerie-Feldbusch Wiesner Rudolph（ベルリン、ドイツ）、2019年「The World Exists To Be Put On A Postcard」大英博物館（ロンドン、イギリス）など

55. Every Second in Between	2018年	ビデオ	3分 59秒		
56. Endless Transition of Space	2014年	アクリル絵の具	ペン	紙	56.5×57cm
57. Endless Transition of Space	2014年	アクリル絵の具	ペン	紙	57×55.5cm
58. Endless Transition of Space	2014年	アクリル絵の具	ペン	紙	76×56.5cm
59. Walk With Eyes Closed	2019年	アクリル絵の具	ペン	紙	42×42cm

Kyung Hwa Shon キョンファ ソン（1983-）
 韓国出身、現在イギリス在住。2009年ホンイク大学で学士号、2011年にシカゴ美術館付属学校で修士号、2019年にロイヤル・カレッジ・オブ・アートで博士号を取得。近年の主な展覧会に 2021年「TBC」Arko Art Center, with The Great Commission（ソウル、韓国）2020年「The Journey of Eternity」、ソウル美術館（ソウル、韓国）、2020年「Out of Scope」IZONE（キエフ、ウクライナ）のほか、2019年と2018年に Stanhop と三井不動産パートナーシップによるパブリックアートを発表している（ロンドン、イギリス）

60. Vitrine Stack	2015年	インク	紙	94×71cm	
61. Vitrine Pile	2015年	インク	紙	94×71cm	

Gary Clough ゲアリー クラウ
 ロンドン在住。ユニバーシティ・フォー・ザ・クリエイティブ・アーツとロイヤル・カレッジ・オブ・アートを卒業後、1994年から1996年までファルマス芸術大学のヘンリー・ムーア財団彫刻、1996年には英国王立彫刻家協会にて特別研究員。ロイヤル・カレッジ・オブ・アートのプログラム責任者を務めるほか、美術教育の分野でも研究活動をしている。主な展覧会に 2020年「Fictions The Cello Factor」The Cello Factory（ロンドン、イギリス）、2018年「Port of Entry」Sun Pier House（チャタム・ケント、カナダ）ほか

62. untitled	2011年	エッチング	12×14.5cm	個人蔵
63. Wounded World	2014年	エッチング	28×32cm	個人蔵
64. Side Show Blues	2009年	エッチング	13×13.5cm	個人蔵

Oliver McConnie オリバー マッコニー（1986-）
 イギリス、ロンドン在住。2007年ユニバーシティ・カンタベリー・クリエイティブ・アーツ卒業後、2009年カンバーウェル・カレッジ・オブ・アーツにて修士号取得、2014ロイヤル・ドローイング・スクール修士課程にて学ぶ。近年の主な展覧会に「Book of Dreams」Chapel on the Green（ウェールズ、イギリス）、2018「Bury The Hatchet」Sarabande Foundation,（ロンドン、イギリス）、2018年「Furta Sacra」Bratislava Gallery（スロヴァキア）など

65. Scab in the dark	2021年	紙	黒色	280×12cm	
66. Scab in the dark	2021年	紙	黒色	280×12cm	

もうひとり MOUHITORI
 小野環と三上清仁によるアーティスト・デュオ。都市の新陳代謝の過程で生まれる現代社会の见えない存在を、サイトスペシフィックなインスタレーションで表現する。主な作品発表として、2019年"Scab" From Here To Beyond、尾道市立美術館（広島）、2019年「ONLY CONNECT Osaka」CCO クリエイティブセンター大阪（大阪）、2018年「In A CITY: Mouhitori Investigates」AirSpace Gallery（ストーク・オン・トレント、イギリス）、2013年「A glacial erratic block at Utopia」滞在制作、Utopiana（ジュネーブ、スイス）ほか

67. Read and Wear	2021年	サイトスペシフィック・インスタレーション			
		美術館に属する脚立、スマホ用自在アーム、加工された木材に印刷されたデジタル・モンタージュ、古書に属する台紙にカーボン紙を用い転写されたキャプション、古書の図版のマウント紙に色鉛筆、食したそばのプラスチック・カップ、キャンバス用木枠、使用済み段ボール、A4 コピー用紙にドローイング（鉛筆、デジタル・モンタージュの断片のカラージュ）、使用済みコーヒーフィルター、膠、不要になった棚の横板、3人の子供が食したアイスの棒にグラファイト、膠引きしたペンタプレットの梱包材、造船会社に属していた古いトレーシングペーパー、印刷されたデジタル・モンタージュ、鉛筆、紙パレットに油彩、剥がし残しの段ボールの一部が張り付いたプラスチック梱包材、印刷され切り抜かれたデジタル・フォト、キャンバス木枠にシルバーの布、食したクラッカーの包装紙、生スカルピー、アルミ箔、銀箔、着色箔、加工されたランバーコア板材			

稲川 豊 Yutaka Inagawa（1974-）
 東京生まれ、尾道在住。1997年に東京芸術大学で学士号、2004年にチェルシー・カレッジ・オブ・アーツで修士号を取得。現在、尾道市立大学芸術文化学部美術学科准教授。自身の芸術実践の一環として、様々なプロジェクトのオーガナイズを国際的に行っている。近年の主な活動として「Floating Urban Slime/Sublime」（2017年〜）「ONLY CONNECT」（2015年〜）、「Another Pair of Eyes」（2019-20年）で実験的な展覧会のキュレーションなどを行うほか、キュレーター Ying Kwok と協働するオンラインプロジェクト「Say to Day」（2020-21年）などがある

68. 柿葉	2021年	和紙	柿渋	炭	45×38cm	
69. 籠	2021年	和紙	柿渋	炭	籠	63×71cm
70. 一閑張	2021年	和紙	柿渋	炭	62×93cm	
71. 一閑張	2021年	和紙	柿渋	炭	32×41cm	
72. 一閑張	2021年	和紙	柿渋	炭	竹	60×40cm
73. 籠 / 一閑張	2021年	和紙	柿渋	炭	竹	145×249cm
74. Work each day	2021年	和紙	柿渋	炭	土	45×38cm

三上 清仁 Kiyohito Mikami（1973-）
 鹿児島生まれ、尾道在住。1999年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程（油画）専攻修了。アーティスト・イン・レジデンス「AIR Onomichi」の運営に携わり、カフェやギャラリー機能をもったオルタナティブスペース「光明寺會館」のディレクター兼創設者で、なかた美術館でもディレクターを務める。近年の主な展覧会に 2020年「トリアルステイ」HAI studio（福井）のほか、アーティストデュオ「もうひとり」としても作品を発表している。